

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 5 年 12 月 22 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様



フリガナ ダイニジカクダ イボサカ イタイクインカイ
 団体名 第二藤田学区大規模災害対策委員会
 所在地
 連絡先
 フリガナ
 代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	大規模災害に備える安全安心な二藤作り
事業実施小学校区・地区	第二藤田小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 8 回目 / 【2017 年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 干拓地である藤田地域は海拔 0 ｍ地帯であり、緊急に避難できる高い建物もほとんど無い農村地域である。30 年以内に 80% の確率で起こるとされている南海トラフを震源とする大規模地震が起これば、浸水・液状化・津波などによる甚大な被害が予想される。この様な大規模災害に対応し、備蓄や一時避難施設の拡充が求められる。各種訓練や研修を通じて自主防災組織の拡大など改善していくことが求められる。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 災害対策の取り組みが岡山市協働の取り組みで奨励賞を受賞し、一定の評価を受けたことに自信を持って持続的に取り組む。 大規模災害等の発生に対応できる第二藤田学区の体制を整備し、学区内住民の防災意識向上をはかることで安全安心な地域作りを推進することを目的とする。

事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 ①学区内各町内会を基礎とした自主防災組織の結成促進及び内容の強化。 ②防災資機材の整備や備蓄を行う。 ③町内会単位の防災リーダー育成のため、各種研修を行う。 ④イス担架や簡易おにぎり作り、災害用伝言ダイヤル体験など防災訓練とともに気軽に参加できる企画として笹ヶ瀬川河川敷ウォーキングを行う。 ⑤今年度は二藤小学校を会場に消防署の協力を得てAED演習・消火器、起震車を使った防災訓練を行う。 研修は、岡山市の指定する避難場所ウォッチングと点検を行う。 ⑥学区内の危険箇所(堤防・用水等)の点検と対策の検討、緊急避難場所(簡易避難塔等も含む)の確保などとりくむ。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 ①学区内住民の防災意識と自助共助意識の向上。 ②学区内で不足している防災知識の向上、資機材の充実など課題の明確化を計る。 ③継続した取り組みを通じて学区内町内会の自主防災組織率向上のために取り組む。 ④各種訓練や研修を通じて、全町内会で防災関連リーダーの育成を図る。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 ① 避難所に指定されている二藤小を会場に、消防署と連携した防災訓練を行う。 ② 研修では緊急避難場所に指定されている施設の実情を把握すると共に、改善箇所についての意見交換も行う。また、自主防災会を立ち上げた町内会の経験を出し合い、防災会立ち上げを促進する。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 ・ 二藤学区内各種組織や、緊急避難場所として協定を結んでいる企業の協力を得るようにする。また市を通して企業の協力で避難場所の拡充にとりくむ。

事業の 情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ・公民館便りや回覧などでお知らせするとともに、市の広報などに掲載していただけるよう取り組む。また、小学校やこども園・中学校などへも積極的に知らせる。
学区 地区 への 広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。
前年度 からの 見直し 拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 ① 緊急避難場所ウォッチングは今まで行っていないので、今年度の取り組みを通して避難場所を広げるよう施設の候補を出し合い拡充する取り組みにつながる。 ② 南海トラフ地震が来れば児島湖の堤防が決壊し、児島湖の水が浸入することが想定されるので、300㎡以内に避難施設を設けられるよう行政とも懇談しながら取り組みをすすめる。 ③ 防災問題では市への要望もまとめ、行政とも連携して充実するように取り組む。
次年度 以降の 予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ① 次年度以後の活動計画 各種研修、防災訓練、炊き出し訓練など感染対策も充実させる。町内会単位の自主防災会結成を加速させ、防災リーダーの育成と活動の強化をはかる。 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他 PR したい 点	① 干拓地であり、緊急避難場所がほとんどない第二藤田学区で、他地域の経験にも学びながら災害に強いまちづくりをすすめる。 ② 各種訓練や研修を通じ、防災意識の向上と課題を明らかにし、具体化を図る。 ③ 単位町内会を基本にした自主防災会立ち上げを支援し、第二藤田学区全体として災害に強いまちをめざす。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	・町内会長会議で第二藤田学区大規模災害対策会議の取り組みの報告と役員の確認をする。
5月	・事務局総務関係会議(役員会)開催 防災訓練や自主防災会結成を進める町内会などの検討
6月	・5日、町内会長会議で自主防災会結成の経験交流を図る。 ・下旬に避難場所ウォッチング。
7月	・ふじた桃太郎どんぶらこまつり実行委員会と併せて9月の防災訓練について検討する。
8月	
9月	・8日二藤小で防災訓練を行う。 ・15日に訓練についての反省会を行う。
10月	
11月	・「ふじた桃太郎どんぶらこまつり」に防災コーナーを設け防災グッズの展示を行う。 171災害用伝言ダイヤルを祭り参加者一斉に体験してもらう。
12月	・来年度計画について検討し、決定する。
1月	・学区新年互例会にて取り組みの紹介
2月	・ウォーキングと炊き出し防災訓練実行委員会の開催
3月	・ウォーキングと炊き出し訓練実施。簡易炊飯、簡易おにぎり作り、171災害用伝言ダイヤル練習、健康チェックなどと共に防災訓練と体力作りのためのウォーキングを行う。

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	27,300	84,500	
実施団体負担金			
参加者負担金			
協賛金	27,345	84,500	連合町内会より
寄附金、他収入			
収入合計	54,645	169,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	30,663	123,000	コピー用紙代
②食糧費		5,000	お茶代
③印刷製本費	7,988	10,000	印刷代
④燃料費		1,000	ガス・ボンベ
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	2,394	10,000	はがき
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	10,000		講師代
⑭保険料	3,600	20,000	訓練・ウォーキング
⑮旅費			
小計(①)	54,645	169,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費			
小計(②)			
支出合計(①+②)	54,645	169,000	

◆概算交付の可否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	☒ 希望する ・ ☐ 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

繰り越し資金がないため

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。